

〈編集後記〉

『地域人材育成研究』第3号、第4号は奥尻高校を特集しました。第3号が特集の前半で、近刊の第4号が後半になります。

『地域人材育成研究』の第一の使命は高校の現場で起きていることを生徒や保護者、高校関係者、地元のみなさんに知ってもらうことです。第二の使命は行政の担当者や研究者に自分たちが対象として行っていることを行っていることの意味を伝えることです。

高校魅力化をはじめとした地域人材育成にかかわる高校教育改革は、直観的には良い方向に勢いよく進んでいるように見えます。応援したい気持ちでいっぱいです。しかし、無批判に賛辞を送ることは躊躇します。方法や手順の妥当性を欠く実践は、道を踏み外したりぶれたりするからです。

われわれ地域人材育成研究会は、アカデミックな仕組みを活用することで、日本の高校の位置を知る地図と進む方向を考えるための磁石を作ることを目的としています。

『地域人材育成研究』第3号編集担当

樋田有一郎

3

地域人材育成研究

第3号

二〇二〇年七月三十一日発行

特集…各地の高校魅力化プロジェクトを紹介
奥尻高等学校の町立移管と

高校魅力化(上)

Print ISSN 2435-3604
Online ISSN 2435-3612
ISBN978-4-910384-03-0 C3037

本誌の全文の電子ファイルは次の地域人材育成研究会ウェブサイトでご覧いただけます。
<https://rhrd.net/>

デザイン…金子あかね・金子純一
編集・発行…地域人材育成研究会